

木くずと下水汚泥による緑化基盤材と被覆植物を組み合わせた防草工法

- 木くず等を利用した地産地消型グランドカバー工法の研究 (H21) -
愛媛県産業技術研究所 建設技術センター 主任研究員 河野 道弘

木くずと下水汚泥を堆肥化した緑化基盤材と被覆植物による防草対策と景観対策を併せ持った工法の研究を実施しました。

緑化基盤材：木質ファイバーとエコクワソイルを混合したものを使用



木質ファイバー；
木くずを繊維状に
細かく破碎したもの



エコクワソイル；
木質ファイバーと下水汚泥を混合し
発酵熟成させた汚泥発酵肥料



フィールド実験 (0日目)



フィールド実験 (21日目)



フィールド実験 (63日目)

産業廃棄物である木くずと下水汚泥をその発生した地域外に持ち出すことなく、さらには緑化基盤材として再資源化を実現した本工法は、フィールド実験により、防草対策と景観対策において効果があることが確認されました。今後は、本工法の普及に伴って、地球温暖化の緩和や循環型社会の形成に寄与することを期待しています。

本研究は、共同研究により実施しました。
(共同研究先 石丸建設(株)、エヌエス環境(株))